

一人一人が輝いて

校長 峰岸 知恵子

記録的な猛暑から急変しすっかり秋めいてまいりました。9月18日の運動会の日には熱中症を心配したくらい素晴らしい晴天の中、ひがしっ子の「70回目の真剣勝負」は感動的に終わりました。

2週間という短い期間でしたが、子どもたちは集中して練習に励みました。学年の競技、演技はもちろんのこと全校競技や応援、リレーや金管クラブ、一輪車クラブそして高学年は各係の仕事と、掛け持ちの多い子ではこのほとんどに関わっていた子もいたようです。器用に練習をこなし当日を迎え、本番は立派に発表し、声を限りに応援しました。地域の方や他の学校の先生方からも「平井東の運動会は素晴らしい、組み体操では涙が出てきました。」「子どもたちの一生懸命な姿に感動しました。」などとお褒めの言葉を沢山いただき嬉しく思いました。

ひがしっ子の良いところは、何事にも一生懸命取り組み、人の話をよく聞くことだと思います。何度も繰り返して言っていますが、昨年度の6年生と行ったウインタースクールでインストラクターの方から「こんなによくお話の聞ける小学生はあまりない、聞くだけでなく私の言うことを一生懸命聞いてその通りやろうとする子ばかり、だから上達するのが早いですね。」と。この様子は卒業した子たちだけではありません。今回の運動会でもどの学年も短い期間でしたが、先生の教えをよく聞き、素直に練習をしていました。これがひがしっ子の良いところだと思います。

だからこそ、徒競走も表現も団体競技も子どもたち一人一人がキラキラと輝いていたのだと思います。お天気のせいだけではありません。どの子もまぶしいほど輝いていました。もちろん子どもたちが頑張れたのは、保護者や地域の皆様が朝早くから最後まで心から声援を送って下さったお陰もあります。

子どもたちが集中して意欲を発揮するその原動力となるものは、やはり学校や家庭、地域で子どもたちを認め誉め、励ますことにあるのだと思います。良いことをした時や努力している時、大いに子どもを誉めてあげてください。誰でも誉められれば気持ちがいいですし、自信につながります。これからもっと頑張ろうと努力することでしょう。たとえうまくいかなくても、もう一度やってみようと思えない心を持ちます。子どもたちが輝く姿とは目標に向かってどんなときも一生懸命、真剣な眼差しで取り組んでいる時で最後には素敵な笑顔を見せてくれる時です。今後も様々な場面で子どもたちが輝いていくように温かく見守っていきたいと思います。

最後になりましたが、保護者の方には熱中症を心配し、お弁当の時に梅干しや元気の出る食品を用意して下さいたり、パパスのお父様方には準備や片付けを手伝って下さったり、PTA 役員の方達には自転車の整理や警備などして下さいたり本当にありがとうございました。どうか今後とも子どもたちのことを温かく見守っていただけますようお願いいたします。